

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和元年度分)

施設名 明々庵・赤山茶道会館
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成29年4月1日～令和4年3月31日

1. 総合評価

市	A	【優れていると評価した点】 幅広い年代の施設利用者からの評価が高く、特に中高生の校外学習の受け入れなどを行うことで、若い世代にも茶の湯文化に対する理解や関心を深める一助となっており評価できる。 また、施設の利用促進のため各種メディアからの取材にも積極的に対応しており、PRに力を入れている。 状況によって、呈茶時間の延長を行うなど臨機応変に対応している。
	A	【評価できない、または改善すべき点】 新型コロナウイルスの影響もあり利用者数が平成30年度に比べて減少した。今後はコロナ対策をしっかりと行いながら、安全面に考慮して施設の運営に努める必要がある。

指定 管理 者	A	【優れていると評価した点】 入館者数は、不昧公200年祭(2018年度・前年比124%)の年には届かなかったものの、松江市で「瑞風」の唯一の立ち寄り先ということ売りに、新規旅行会社と商品開発を行った。足立美術館の17年連続庭園日本一を受け、外国人の方を多く受け入れ、出雲独特の「出雲流庭園」の解説にも力を入れた。団体客や個人客にも同様のガイドを行い好評だった。また、JAFをはじめ県内外の外部団体との連携も図った。県内外の中学生の自主研修も受け入れ「城下町に根づく松江の茶の湯文化」を発信した。併せて、TVや雑誌、ケーブルテレビの取材を通し、全国にPRを行ったことで反響は大きかった。12月末までは前年比94%と健闘していたが、1月からの新型コロナウイルスの影響を受け、1月末以降の団体や個人客の予約がすべてキャンセルとなり、影響が大きかった。
	A	【評価できない、または改善すべき点】 団体客を受け入れている時の、個人客の呈茶提供を野点で行うものの、スタッフの不足から半分程度しか行なえず、お断りしたケースも多かったため、方法を模索したい。避難誘導や人工呼吸訓練等が実施できなかった。

2. 施設利用の増減について

総 括	利用者数は、平成30年度と比べて減少したが、比較対象の平成30年度は不昧公200年祭の影響により、例年より利用者数が増えていたことや、平成31年度は1月以降、新型コロナウイルスが世界中で流行していたことが大きな要因であると考えられる。また、収支は黒字となっており、指定管理者による適切な管理運営及び各種メディアを通じた情報発信を積極的に行い、利用促進を図ったことが要因と考えられる。
--------	--

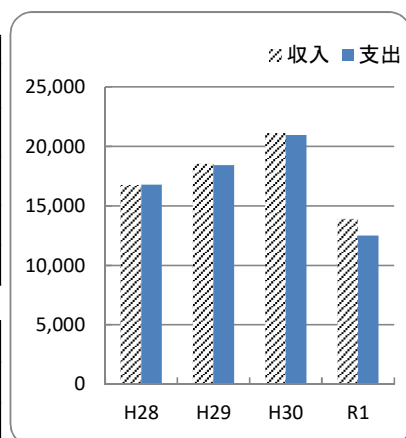
(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く)

(千円)

項目\年度		H28	H29	H30	R1
施設の 収 入	収入	16,755	18,540	21,126	13,897
	うち指定 管理料	13,282	8,866	8,866	8,960
	うち利用 料	0	9,674	12,260	3,242
	支出	16,770	18,412	20,972	12,513
	差引	△ 15	128	154	1,384

上記以外の市の収入、支出

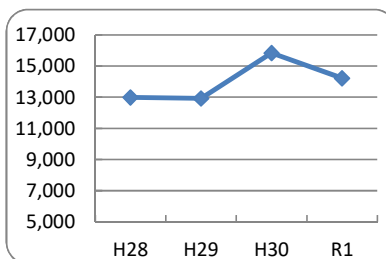
市 の 収 支	収入(使用料)	4,614	0	0	0
	支出	5,450	1,222	466	1,493
	うち市の 修繕費	4,289	782	450	748



(2) 利用者の推移

(人)

H28	H29	H30	R1
12,996	12,929	15,839	14,221



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 当該年度の実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準値に対する 達成度 C/A
アウトプット	明々庵年間入館者数	9,800	9,800	10,694	109.1%	109.1%
	赤山茶道会館利用者数	2,600	2,600	3,176	122.2%	122.2%
アウトカム	利用者のアンケート満足度	70%	70%	100%		
	達成度 平均				115.6%	115.6%

達成度 に対する 意見	指定管理者	市
	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 「瑞風」の立ち寄り先ということで、多くの雑誌やTVで取り上げられたことや、新規旅行会社との企画商品を増やしたことが寄与していると思われる。出雲流庭園を売りに、外国人の方を多く受け入れをした。FDAを利用した商品など、新規企画商品を考え旅行会社と連携を図りたい。不昧公200年祭効果が徐々に薄れ、赤山茶道会館を使った「茶会・茶事」が少なくなると思われるので、如何に利活用につなげるかが、今後の課題。	【達成度の原因・分析】 各種メディアへの取材を積極的に受け、情報発信に努めたことが指標達成につながったものと考えられる。また、出雲流庭園を売りにして、多くの外国人の受け入れに努めたことも要因であると思われる。

(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
193	①満足している 191件(98.97%) ②どちらともいえない 2件(1.03%) ③満足していない 0件(0%)	①良い 静かな環境の中で、ゆっくりお抹茶をいただきました。命が洗われました。お菓子の話、焼き物の話をいろいろ伺い感激しました。松江の旅行のいい思い出ができました。ライトアップの幻想的な庭を眺めながらの一服は至福のひと時でした、など。 ②苦情 特になし。 ③要望 特になし。

(4) 住民サービス向上の事例

県内外からの中学生の「松江探訪」や市内の高校生の「課外授業」など、要望があれば「城下町松江に根づく茶の湯文化」の解説を行っている。また、団体や一般客にも予約で同様のガイドを行い、松江の茶の湯文化の発信に努めている。

3. 自主事業

総括	中学校の職場体験や高校の校外学習に協力するなど、若い世代にも茶の湯文化に興味を持つきっかけとなる取り組みをしており、評価できる。また、団体や一般客にも予約でガイドを行い、わかりやすく、詳しい情報発信に努めていることから松江の茶の湯文化の普及に寄与していると評価できる。
実施状況	土産品販売、松江城大茶会、呈茶

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

要望のある、入館と呈茶のセット料金が導入できないか検討したい。新型コロナの状況を踏まえ、旅行会社との連携を模索したい。